



東洋大学

大学院紀要

第54集

文学研究科

[日本文学文化(国文学)専攻]

2017

目次

文学研究科

日本文学文化専攻

「かいもちひ」考——『徒然草』注釈書を中心に……………久保田一弘 1

詩人としての小川未明——詩集『あの山越えて』の考察……………増井真琴 15

国文学専攻

大釜孤堂論——『種ふくべ』二種をめぐって……………根本文子 31

絵巻と草双紙——『化物婚礼』絵巻と十返舎一九『化物の姫入』考……………大内瑞恵 57

曾良の『旅日記』に於る神と仏とに関する表現……………相澤泰司 73

研究活動報告

編集後記

文 学 研 究 科
日 本 文 学 文 化 専 攻

文 学 研 究 科
国 文 学 専 攻

研 究 活 動 報 告

報告期間 平成29（2017）年1月～12月

文学研究科

【哲学専攻】

1月28日（土） 14：00～16：00 白山キャンパス 8206教室	平成28年度哲学専攻修士論文口述試験を実施した。今回の修士論文提出者は、博士前期課程2年生の2名であった。1人あたり、発表・質疑応答合わせて50分の時間を設けた。教員7名のほか、院生9名の出席があった。受験者は指導教員をはじめとした出席者からの質問に答え、各自の修士論文の成果を報告した。
2月18日（土） 11：00～17：00 白山キャンパス 5101教室	平成28年度哲学専攻修士論文研究報告会を実施した。博士前期課程1年生の6名が発表を行った。各自に40分の発表時間を与え、次年度の修士論文提出に向けた研究の進捗状況を報告した。本会は大学院生が中心となって企画したものであり、院生13名が参加した。今後の修士論文執筆の計画について、学生同士での活発な議論が行われた。
4月4日（火） 16：00～17：00 白山キャンパス 8202教室	平成29年度の哲学専攻新年度ガイダンスを実施した。大学院の専任教員6名のほか、学部の教員2名、院生15名が出席した。ガイダンスでは、各教員よりそれぞれの講義内容や指導方針について説明があり、大学院哲学専攻の年間スケジュールを確認した。学生からは、それぞれの研究テーマ等について自己紹介が行われた。ガイダンス終了後は新入生歓迎会を行い、親睦を深めた。
7月8日（土） 10：00～18：00 白山キャンパス 6305教室	平成29年度哲学専攻修士論文中間発表会を開催した。発表時間は質疑応答を含めて各学生1時間で、本年度修士論文を提出する予定のある博士前期課程6名の学生が発表を行った。教員は7名、院生は発表者を含めて21名が参加した。修士論文の質的向上のため、出席者から多角的な意見が出され、活発な議論が交わされた。
10月28日（土） 15：00～18：00 白山キャンパス 6209教室	第27回白山哲学会を挙行了。本年度は大学院博士後期課程在学中の寅野遼氏による研究発表が行われた。その後、本年度から新たに文学部哲学科准教授に着任した三重野清顕氏による講演が行われた。全体を通じて38名の参加者があり、それぞれの発表・講演について活発な質疑応答が交わされた。学会の終了後、大学近くの料理店にて懇親会が執り行われた。

【インド哲学仏教学専攻】

<p>6月28日（水） 13：20～16：45 白山キャンパス 5404教室</p>	<p><u>平成29年度春学期院生研究発表会</u> 第一部講演：講師 引田弘道先生（愛知学院大学文学部宗教文化学科教授）題目 「神と祭祀—『サートヴァタ・サンヒター』を中心として—」；第二部：院生研究発表：新生研究計画：蓮見太郎、古川峻、村田良子；伊藤頼人（D3）「『マハーバーラタ』における戦争の形 — 鉄の矢 nārācaについて —」；藤井明（D3） 「インド密教における大自在天の住処—『ブータダーマラ・タントラ Ekaṅga』の記述を中心として—」板敷真澄（D3） 「初期真宗における東国門徒の戒律観」：博士後期課程の発表内容に応じて第1部の講演会では専門家を招聘し最近の研究状況を中心に講演頂いた。若干の学部生も含め、教員学生を含め約50名の参加者を得て盛会であった。</p>
<p>11月22日（水） 14：00～17：30 白山キャンパス 5404教室</p>	<p><u>平成29年度秋学期院生研究発表会</u> 第一部講演：講師 西村実則先生（大正大学仏教学部教授）題目 「マガダ語からサンスクリットへ—インド仏教徒の使用言語—」；第二部：院生研究発表：谷釜智洋（M2）「真宗大谷派の布教冊子『御大典と真宗』にみる「真俗二諦」論 -皇道仏教化に着目して-」；プラマハ・バンジェット（D1）「布薩韃度における境界（sīmā）」； 崎山忠道（D2）「『了本生死經』における「内縁起」の「因」について—他の四漢訳に引き継がれなかった個所を中心として—」；鈴木伸幸（D2）「Śikṣāsamuccayaの菩提心説における菩薩乗と声聞乗」：仏教研究に必要な古代インド語について最近著書を出版した専門家を招聘しその研究内容を講義して頂いた。</p>

【日本文学文化（国文学）専攻】

<p>1月18日（水） 13：00～18：05 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>2016年度 修士論文発表会の開催 修士論文提出者の発表、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者50名 1. 山崎 直紀 助詞の研究 2. 池 泰加 『源氏物語』研究—空蟬の和歌について— 3. 新鍋 早紀 歌舞伎に見る「悪」の美学 4. 善教 祐 大正期の文芸誌にみる文学の漫画化 5. 増井 真琴 小川未明研究 6. 佐々木悠里 伊藤整作品における女性像の考察 7. 中山 新也 大岡昇平『レイテ戦記』論 8. 岩城 一美 江戸吉原の遊女研究—柳亭種彦著『高尾年代記』を軸に— 9. 劉 輝中 シンガーソングライターの歌詞における詩的美意識 10. 鄭 余榮 清岡卓行の中国イメージについて 11. 徐 文瓊 日本語母語者と日本語学習者の断り表現の対照研究—「依頼」に対する断りを中心に—</p>
<p>6月28日（水） 13：00～18：30 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>2017年度 修士論文中間報告会開催 本年度修士論文提出者予定の中間報告、教員と博士前期・後期の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 【発表】（全員博士前期課程2年生） 入退室自由で参加者50名 1. 久保田一弘 「かいもちひ」の研究 —『徒然草』を中心に— 2. 堀田 匡秀 『徒然草』研究 3. 田村 妙子 日本中世文化における茶の研究 4. 浅尾みゆき 奈良絵本研究 5. 金井 陽子 「近世における『竹取物語』の享受の研究」 6. 眞杉 泰輝 文暁著『花屋日記』の中の芭蕉 7. 村上 智子 松尾芭蕉研究 8. 善教 祐 日本近代文学とそのマンガ化 9. 本田 愛里 宮沢賢治研究 10. 永沢 美奈 立原道造研究 11. 劉 耀中 日本の現代詩のあり方と可能性についての研究—フォークソングの歌詞における詩的表現を実例</p>

	として— 12. 高橋 千寿 職業語の社会言語学的研究
7月19日（水） 10：40～12：10 白山キャンパス 大学院セミナー室 7	特別講義：レポート・論文の論理的展開力の育成 留学生を中心的対象者として行われた。 山崎木絵講師
7月22日（土） 13：00～18：00 白山キャンパス 6B12教室	東洋大学日本文学文化学会 2017年度大会 開催 研究発表3本、および王朝物語研究の権威、神野藤昭夫氏（跡見学園女子大学名誉教授）を迎えての講演で構成され、有意義な一日となった。 参加者約50名 【研究発表】 13：05～ 1. 「かいもちひ」の考察 博士前期課程2年 久保田 一弘 2. 日本中世喫茶に関する一考察 博士前期課程2年 田村 妙子 3. 近代における『花屋日記』評 博士前期課程2年 眞杉 泰輝 【講演】 15：30～ 源氏物語はどう翻訳されて来たか—与謝野晶子の挑戦 跡見学園女子大学名誉教授 神野藤 昭夫
10月21日（土） 江東区芭蕉記念館	第438回俳文学会東京研究例会での研究発表 博士前期課程2年 眞杉泰輝 文暁著『花屋日記』再考
11月5日（日） 松山市立子規記念 博物館	第69回俳文学会全国大会での研究発表 博士後期課程3年 金子はな 支考「仮名碑銘」成立考
11月15日（水） 10：40～12：10 白山キャンパス セミナー室7	特別講義：レポート・論文の論理的展開力：応用編 留学生を中心的対象者として行われた。 山崎木絵講師
12月3日（日） 富山大学 五福キャンパス	平成29年度冬季全国大学国語国文学会第116回大会での発表 博士後期課程3年 清水麻利子 大伴家持を詠む片山廣子短歌の考察 —芥川龍之介宛書簡の短歌から繋がる歌心—

12月12日（火） 14：45～16：15 白山キャンパス 8501教室	特別講義：レポート・論文の論理的展開力：応用編2 留学生を中心的対象者として行われた。 山崎木絵講師
---	--

【中国哲学専攻】

3月25日（土）	《午前部》10時30分～12時00分
10：30～12：00	【博士前期課程 修士論文構想発表】
13：00～17：00	李慧淳（東洋大学大学院）「王朔の小説に見える豊かさについて」
白山キャンパス	王蘇駿（東洋大学大学院）「老子『道德経』の注について研究する」
6410教室	常天天（東洋大学大学院）「上海巴金故居」
	豊田尚徳（東洋大学大学院）「康有為『大同書』内の孔子の位置付け」
	【修士論文成果発表1】
	阿久澤巧（東洋大学大学院）「『修行道地経』と『道地経』の関係について」
	佐藤智博（東洋大学大学院）「呂赫若小説の男性像にみる思想 —『台湾文学』期作品の位置付け」
	《午後部》13時00分～17時00分
	【修士論文成果発表2】
	黒田祐介（東洋大学大学院）「孟子性善説再考 —宋代における『孟子』の『赤子之心』解釈を中心に」
	呂夢雨（東洋大学大学院）「『太上洞玄靈寶授度儀』研究」
	【研究発表】
	水野あゆ（東洋大学大学院）「児童雑誌『児童世界』と『小朋友』の初期における内容変遷について」
	志村敦弘（東洋大学大学院）「王守仁の聖人観」
	黒崎恵輔（早稲田大学大学院）「『礼記』経文における「凡」の様式について」
	竹内洋介（東洋大学文学部非常勤講師）「唐代「牛李党争」の虚像と実像 —李徳裕の動向を中心として」
	【基調講演】16時00分～17：00分
	野間信幸（東洋大学文学部教授）「作品舞台で張文環の文学を考える」
	参加者数：20名

<p>7月29日（土） 10：30～12：30 13：30～15：30 白山キャンパス 6217教室</p>	<p>《午前の部》10時30分～12時30分</p> <p>【博士前期課程 研究報告】</p> <p>于森（東洋大学大学院）「中日戦争中の老舎小説における「葛藤する思考」について——『四世同堂』を例として」</p> <p>樊玉文（東洋大学大学院）「漢楽府詩研究——「陌上桑」と「羽林郎」の比較を中心として」</p> <p>王蘇駿（東洋大学大学院）「『老子道德経』における「無」について」</p> <p>李慧淳（東洋大学大学院）「過小評価された王朔の作品」</p> <p>車曉威（東洋大学大学院）「魯迅の散文詩集「野草」の生命哲学を論じる」</p> <p>龐芮（東洋大学大学院）郁達夫における女性像——作品集『沈倫』から」</p> <p>常天天（東洋大学大学院）「巴金『寒夜』研究——「好人」にもたらされる悲劇の意味」</p> <p>豊田尚徳（東洋大学大学院）「康有為の大同思想形成の過程」</p> <p>《午後の部》13時30分～15時30分</p> <p>【研究発表】</p> <p>黒田祐介（東洋大学大学院博士後期課程）「朱熹における『孟子』の『赤子の心』解釈について」</p> <p>余祺琪（東洋大学大学院博士後期課程）「朱熹・陸九淵・王陽明の中和問題について」</p> <p>志村敦弘（東洋大学大学院博士後期課程）「王守仁の聖人論」</p> <p>土田秀明「王陽明の理気論の構造に関する一考察」</p> <p>【基調講演】 15時30分～17時30分</p> <p>坂井多穂子（東洋大学文学部准教授）「『乾淳』と『元祐』—南宋詩人は北宋詩人をどう見たか」</p> <p>市來津由彦（二松学舎大学文学部特別招聘教授）「朱子学の言葉・陽明学の言葉」</p> <p>参加者数：30名</p>
--	---

【英文学専攻】

<p>5月31日（水） 15：00～17：00 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>「春季院生発表会」 出席したすべての在籍の院生が今後の研究テーマ・目的・方針・抱負などについて報告を行った。それぞれの報告に対して、有益なコメントが各教員から出された。また、交換留学をする院生も紹介された。参加人数：院生4名（博士前期2、博士後期2）、教員6名。</p>
<p>11月8日（水） 15：00～18：00 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>「秋季院生発表会」 11月25日の「第51回大学院英文学専攻協議会研究発表会」で研究発表予定の院生3名が予行演習も兼ねて研究発表を行った。それぞれの発表の後、活発な質疑応答がなされ、研究発表の内容・質を高めるのに役立ったと思われる。発表予定のない院生もショート・スピーチを行った。「文学研究というキャリア選択」という題目で佐藤里野英米文学科講師の講演が最後に行われた。参加人数：院生4名（博士前期2、博士後期2）、教員7名。</p>
<p>11月25日（土） 13：00～20：00 立教大学</p>	<p>「第51回大学院英文学専攻協議会発表会」 例年同様、120名を超える多くの参加者が集い、真剣な研究発表と熱のこもった議論や質疑応答が交わされた。本学から参加した院生は、3名（博士前期2、博士後期1）であり、3名とも研究発表を行い、高い評価を得た。研究発表者の1名は英語での研究発表をした。教員は4名が出席し、3名がアドバイザーとして参加した。夜には懇親会があり、本学から出席した教員と院生全員が参加し、こちらも盛会であった。</p>

【史学専攻】

3月25日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学人間科学総合研究所 若手研究者支援研究チーム「首都における権力の比較史」公開研究会 博士後期課程 小林栄輝「韓滉の江南統治について」
4月4日（火） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会 新入生歓迎「歴史学への招待」を開催。 博士後期課程 小林栄輝「隋帝国と煬帝をめぐって」
4月8日（土） 東洋大学 白山キャンパス	歴史学研究会日本古代史部会主催、関東・名古屋・関西研究交流会 博士後期課程 上村正裕「日本古代官僚制の発展過程—遣使・臨時官司を手がかりに—」
6月24日（土） 東洋大学 白山キャンパス	白山史学会第45回総会 博士後期課程 加納哲夫「トゥキユディデスの神託」
7月1日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学大学院 文学研究科史学専攻研究発表会 ＜日本史・東洋史専攻＞ 1, 博士後期課程 程楽「清末におけるモンゴル辺境危機と京張鉄道」 2, 博士前期課程 重藤智彬「戦国期播磨国における寺社領」 3, 博士後期課程 上村正裕「奈良時代における近臣の諸類型と官人編成」 4, 博士後期課程 小林栄輝「韓滉と江南」 5, 博士後期課程 中村祐也「朝鮮の電信線と民衆」 ＜西洋史専攻＞ 1, 博士前期課程 石塚碧「19世紀イギリスにおける看護と女性—フローレンス・ナイチンゲールに焦点をあてて—」 2, 博士前期課程 岡野すみれ「イングランドにおける宗教改革期のプロテスタント亡命難民」 3, 博士前期課程 窪島未来「古代ギリシアにおける重装歩兵のOthismos について」
9月23日（土） 武蔵野商工会議所 ビル	幕末史研究会例会 博士後期課程 小林哲也「「大政奉還」と「政権返上」をめぐって」
9月30日（土） 明治大学 駿河台キャンパス	東京歴史科学研究会例会 博士後期課程 中村祐也「近代朝鮮における民衆の電信線破壊」

11月13日（月） 東京大学 本郷キャンパス	史学会大会 日本史部会（古代史） 博士後期課程 上村正裕「奈良時代の王権と内臣」
------------------------------	---

【教育学専攻】

<p>2月4日（土） 14：00～17：00 白山キャンパス 8205教室</p>	<p>大学院生研究発表会（大学院在籍者6名、教員14名の計20名が参加） 下記の大学院生が各研究の進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今井智貴 「児童生徒の実態イメージカードを用いた模擬授業が学生の授業省察に与える効果」 ・川上浩希 「授業における「ずれ」に関する研究—教師と子どもの「ずれ」に着目して—」 ・陳 思婷 「子どもの内面形成を図る自由遊びを中心とした保育に関する研究—NPO法人「りんごの木」子どもクラブの「ミーティング」を通して—」 ・畠野真理子 「教職志望学生の授業省察活動を支援する児童生徒の状態変化カードの開発と評価」 ・鈴木智裕 「中学校歴史教育における外国史の取扱いの変化に関する考察」 ・国谷直己 「昭和戦前期の茨城県教育と水戸学」
<p>8月5日（土） 14：00～17：00 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>修士論文中間報告会（博士前期課程在籍者10名、教員13名の計23名が参加） 下記の修士論文提出予定者が各論文の進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川上浩希 「授業における「ずれ」と学びの深まりに関する研究—上田薫の「ずれ」に着目して—」 ・陳 思婷 「子どもの自主的な遊びを中心とした保育に関する研究—「りんごの木」子どもクラブの保育を通して—」 ・鈴木智裕 「中学校社会科歴史的分野の世界史領域と公民的分野の連携に関する考察—現代の政治・経済体制が成立した背景に着目して—」 ・呉 蘇 「日本の小学校社会科の環境教育から中国への示唆—ごみリサイクルの問題を中心に—」 ・畠野真理子 「模擬授業の省察場面において児童生徒役の学習反応を可視化することの効果」 ・今井智貴 「模擬授業における役割演技の導入が児童役の学生に与える効果」

【英語コミュニケーション】

5月24日（水） 白山キャンパス 8603教室	大学院・英語コミュニケーション専攻第一回研究発表会 博士前期課程1名、博士後期課程2名による、研究発表会が開催された。 教員4名、院生6名が参加した。質疑応答では活発な議論があった。
7月29日（土） 白山キャンパス 6410教室	東洋大学英語コミュニケーション学会第9回大会・総会が開催された。 本専攻から、修了生2名が研究発表を行った。
11月22日（水） 白山キャンパス 8301教室	大学院・英語コミュニケーション専攻第二回研究発表会 博士前期課程4名による、研究発表会が開催された。教員4名、院生6名 が参加した。研究発表の内容について、活発な議論があった。

社会学研究科

【社会学専攻】

1月16日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会定例研究会 報告者：古谷伸子（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フェロー） 題目：タイの民間医療をめぐる法的状況と治療師の実践 出席者：院生博士前期7名、院生博士後期3名、教員5名、外部1名 計 16名
4月17日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会定例研究会 報告者：佐久間寛（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 助教） 題目：オーラルからモーラルへ——ニジェール西部の人と土地をめぐる 社会関係 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期2名、教員5名、外部3名 計 15名
5月15日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会定例研究会 報告者：寺内大左（東洋大学社会学部助教） 題目：ボルネオ島焼畑民の生活世界から見たアブラヤシ農園開発 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期2名、教員5名、外部4名 計 16名
6月19日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会定例研究会 報告者：平島みさ（東洋大学社会学部教授） 題目：シンガポールのヘリテージ・ツーリズムとエスニック・アイデ ンティティ——プラナカン文化の表象と消費をめぐる 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期2名、教員6名、外部3名 計 16名
7月17日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会定例研究会 報告者：三浦綾希子（中京大学国際教養学部准教授） 題目：フィリピン系ニューカマー二世世代のエスニックアイデ ンティティと学業達成 出席者：院生博士前期5名、院生博士後期3名、教員5名、外部2名 計 15名

<p>7月22日（土） 12：30～17：00 白山キャンパス 6205教室</p>	<p>平成29年度白山社会学会大会 第1部 研究発表の部 13：10～15：20 ・小川祐喜子（東洋大学）13：10～13：40 「地域若者サポートステーションの研究動向」 ・西田知未（東洋大学大学院福祉社会システム専攻修了）13：40～14：10 「韓国老年学の嚆矢——朴在侃と韓昌榮を中心に」 ・渡辺芳（東洋大学）・高橋奈佳（東洋大学）14：10～14：50 「都市の再開発と野宿者～2000年代の首都圏の状況から～」 第2部 学会企画の部 15：00～17：00 ・松本誠一（東洋大学） 「東洋大学の社会学教育——1887-1946年 哲学館から文学部社会学科開設の前まで」 ・山下 袈裟男先生 追悼文集紹介 出席者：発表者4、院生3、教員5、元院生8、元教員1、他3 計20名</p>
<p>10月16日（月） 18：15～20：30 白山キャンパス 8305教室</p>	<p>白山人類学研究会定例研究会 報告者：古川勇氣（東京大学大学院総合文化研究科博士課程） 題目：生活の「延長線上にある」チーズ経営——ペルー、カハマルカ県の山村における経済活動を事例に 出席者：院生博士前期4名、院生博士後期2名、教員5名、外部3名 計14名</p>
<p>11月11日（土） 13：00～17：30 白山キャンパス 8502教室</p>	<p>13：00～13：10 趣旨説明（植野弘子） 13：10～13：55 「近代建築物にみる沖縄の「近代化」認識に関する一試論」 報 告 者：上水流久彦（県立広島大学） コメンテーター：泉水英計（神奈川大学） 13：55～14：40 「交錯する記憶——朝鮮半島をめぐる植民という日常」 報 告 者：鈴木文子（佛教大学） コメンテーター：三尾裕子（慶應義塾大学） 14：50～15：35 「沖縄県の台湾系住民をめぐる記憶の連続・断裂・散在——宮古地方と八重山地方を比較して」 報 告 者：松田良孝（フリー・ジャーナリスト） コメンテーター：笠原政治（横浜国立大学）</p>

	<p>15：35～16：20 「国際交流事業における在日コリアンの参与 ——対馬と下関の朝鮮通信使再現行列を中心に」</p> <p>報告者：中村八重（韓国外国語大学） コメンテーター：井出弘毅（東洋大学）</p> <p>16：30～17：15 「パイン産業にみる旧日本帝国圏を越える移動 ——ハワイ・台湾・沖縄を中心に」</p> <p>報告者：八尾祥平（神奈川大学） コメンテーター：箕曲在弘（東洋大学）</p> <p>17：20～18：10 総合討論</p> <p>出席者：院生博士前期3名、院生博士後期3名、教員5名、外部15名 計 26名</p>
<p>12月18日（月） 白山キャンパス 8502教室</p>	<p>白山人類学研究会定例研究会</p> <p>報告者：山崎 寿美子（愛国学院大学）</p> <p>題目：カンボジア北東部のラオ村落における対人関係をめぐりやりすごし</p> <p>出席者：院生博士前期3名、院生博士後期2名、教員4名、外部7名 計 16名</p>

【社会心理学専攻】

1月6日（金） 白山キャンパス 8301教室	長谷川真理子先生（総合研究大学院大学）による「ヒトの協力行動と子育て：ヒトは共同保育の動物」と題してご講演をいただいた。院生を含む約40名が参加した。 第18回Society for Personality and Social Psychologyに、D1の金子迪大氏および倉矢匠氏、M1の坂井絵里香氏および沓澤岳氏が参加し、発表を行った。
2月3日（金） スカイホール	修士論文発表会：修士論文を書き終えた5名の院生が、自分の研究内容について発表し、フロアーと討議を行った。参加者約30名であった。
4月14日（金） 白山キャンパス 8301教室	新入生（前期課程15名、後期課程5名）を含む大学院生31名全員と教員が集合し、心理学研究における倫理基準や倫理審査の手順、研究の心構え、今後の進め方などについて、各教員が説明を行った。
4月21日（金） 白山キャンパス 8301教室	研究計画発表①（修士）：前期課程1年の井上氏、内山氏、王氏、河合氏、崔天雅氏、崔凌氏、佐藤氏、蘇氏の8名が、今後の研究計画について、それぞれ10分間（内2分間質疑応答）の報告を行った。他の院生及び教員からの口頭質問し、コメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
4月28日（金） 白山キャンパス 8301教室	研究計画発表②（修士）前期課程1年の対中氏、高橋氏、代氏、田楊氏、田蘭蘭氏、范氏、李氏の7名が、今後の研究計画について、それぞれ10分間（内2分間質疑応答）の報告を行った。他の院生及び教員からの口頭質問し、コメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
5月12日（金） 白山キャンパス 8301教室	研究発表①（修士）：前期課程2年の小越氏、徐氏、深瀬氏、本山氏の5名が、これまでの研究進捗状況について、それぞれ20分間（内10分間質疑応答）の報告を行った。他の院生及び教員からの口頭質問し、コメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
5月19日（金） 白山キャンパス 8301教室	研究発表②（博士）：後期課程1年の大高氏、沓澤氏、高橋信雄氏、滝口氏、本郷氏の5名が、これまでの研究進捗状況について、それぞれ20分間（内10分間質疑応答）の報告を行った。他の院生及び教員からの口頭質問し、コメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。また、プレゼン資料をToyoNet-ACEにアップし共有化した。

5月27日（土） 白山キャンパス 6203教室	石井敬子先生（神戸大学大学院人文学研究科）に、「時間的および社会的自己制御における社会・文化環境の影響」と題してご講演をいただいた。院生を含む約40名が参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
6月3日（土） 白山キャンパス 20512教室	毛新華先生（神戸学院大学）に、「文化的要因からみる社会的スキルとそのトレーニング」と題してご講演をいただいた。院生を含む約40名が参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
7月1日（土） 白山キャンパス 6209教室	野村理郎先生（京都大学大学院教育学研究科）に、「社会行動の多様性と遺伝と環境のかかわり」と題してご講演をいただいた。院生を含む約40名が参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
7月21日（金） 白山キャンパス 5B12教室	大学院生全員による研究成果発表会：春学期の総括として、大学院生全員41名によるポスター発表を行った。前半と後半の2班に分かれ、院生及び教員とによる活発な質問応答を行った。
9月20日（水）～ 9月22日（金）	日本心理学会（久留米大学開催）に参加し、シンポジウムの企画・話題提供、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では安藤氏、大島氏、堀毛氏、桐生氏、片山氏、松田氏であり、大学院生は、金子氏、入山氏、池間氏、佐藤氏、滝口氏、大高氏、高橋綾子氏であった。また、3月に学位（博士）を取得した岩見広一氏（北海道警察本部科学捜査研究所）は、研究内容について小講演を行った。
9月29日（金） 白山キャンパス 8301教室	秋学期の研究運営に関し、各種連絡を行った。また、前期課程2年の研究の進捗状況を確認した。
10月13日（金） 白山キャンパス 8301教室	研究発表③（修士）：前期課程2年の小越氏、徐氏、深瀬氏、本山氏の5名が、これまでの研究進捗状況について、それぞれ30分間（内10分間質疑応答）の報告を行った。他の院生及び教員からの口頭質問し、コメントシートへの質問・感想を記述提出してもらい、各報告者に手渡した。
10月20日（金） 8301教室	英語論文紹介①：後期課程3年の金子氏、倉矢氏、入山氏から、それぞれの研究に関する先行研究（英語論文）を紹介してもらい、主に前期課程の院生に対して、英語論文の読み方や注目点などを話してもらった。

10月28日（土）～ 10月29日（日）	日本社会心理学会（広島大学）に参加し、研究発表などを行った。主な参加者は、教員では堀毛氏、山田氏、片山氏、尾崎氏であり、大学院生は、陸氏、金子氏、倉矢氏、新井田氏、滝口氏、沓澤氏、本郷氏、佐藤氏であった。
11月2日（木）～ 11月5日（日）	研究協力協定を結んでいる韓国成均館大学校（ソウル市）において、共同セミナーを実施した際に、D3の陸英善氏とD1の沓澤氏が同伴して参加し、それぞれの研究についてのポスター発表を行った。
11月10日（金） 8301教室	英語論文紹介②：後期課程1年の滝口氏、大高氏から、それぞれの研究に関する先行研究（英語論文）を紹介してもらい、主に前期課程の院生に対して、英語論文の読み方や注目点などを話してもらった。
12月2日（土） 6203教室	ニール・シーマン（RIWI社 CEO）氏から「ビッグデータからスマートデータへの移行と謙虚さ（Humility）の重要性」と題して、また小野沢輝道氏（株式会社クロス・マーケティング）から「インターネットリサーチの学術利用についての現状と留意点」と題して、それぞれご講演をいただいた。院生を含む約40名が参加した。なお、参加した院生は感想などを ToyoNet-ACEにアップし、指導教員のチェックを受けた。
12月8日（金） 8301教室	英語論文紹介③：後期課程1年の沓澤氏から、研究に関する先行研究（英語論文）を紹介してもらい、主に前期課程の院生に対して、英語論文の読み方や注目点などを話してもらった。 後期課程主催による企画シンポジウム：研究ネットワークに関するテーマにて、後期課程1年の沓澤氏、滝口氏、本郷氏が話題提供をし、フロアーとの意見交換を行った。
12月15日（金） 8301教室	英語論文紹介④：後期課程3年の池間氏、後期課程1年の高橋氏、本郷氏から、それぞれの研究に関する先行研究（英語論文）を紹介してもらい、主に前期課程の院生に対して、英語論文の読み方や注目点などを話してもらった。

法学研究科

【私法学専攻】

1月31日（火） 10：30～12：30 8302教室	修士論文口述審査 (私法学専攻は5名の修士論文について審査を行った)
3月23日（木） 13：20～14：00 8304教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式 大学院生活等に関する修了生アンケート実施 修了生のネットワーク構築について情報収集
4月1日（土） 13：30～14：30 全体説明1405 専攻別（私法学 1406教室）	大学院新入生ガイダンス
6月13日（火） 16：00～17：00 8号館7階特別会議 室	平成29年度第1回博士論文中間報告会 (公法学専攻から4名の報告があり、私法学の教員も参加した。)
10月10日（火） 18：00～20：00 4号館1階ステラ	短期海外招聘教授であるWolfgang Voit（マールブルグ大学）氏、海外実務者として講演予定のEva Betina Voit氏、両名との懇親会を開催。
10月12日（木） 18：15～19時45分 8号館7階125記 念ホール	短期海外招聘教授であるWolfgang Voit氏と海外実務者であるEva Betina Voit氏から「建築物の引取」について講演実施
11月7日（土）～ 11月13日（月） 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施
11月14日（火） 9号館2階第4会議 室	平成29年度修士論文中間報告会 平成29年度終了予定の修士課程2年生（私法学2名）が報告を行い、参加教員からのアドバイスを受けた

12月4日（月）・ 5日（火）・ 7日（木） 12：10～13：00 8304教室・8202教 室・セミナー室7	大学院生活等に関する個別相談会 執行部3名が希望学生から大学院生活について相談を受ける。
12月12日（火） 16：00～17：00 8号館7階特別会議 室	博士（甲）論文提出者による公聴会 （公法学専攻から1名の報告があり、私法学の教員も参加した。）
12月12日（火） 17：00～18：00 8号館7階特別 会 議室	平成29年度第2回博士論文中間報告会 （公法学専攻から3名の報告があり、私法学の教員も参加した。）

【公法学専攻】

1月31日（火） 10：30～13：30 白山キャンパス 8303教室	修士論文口述審査 (公法学専攻は9名の修士論文について審査を行った)
3月23日（木） 13：20～14：00 白山キャンパス 8304教室 (公法・私法合同)	大学院学位記授与式 大学院生活等に関する修了生アンケート実施 修了生のネットワーク構築について情報収集
4月1日（土） 13：30～14：30 白山キャンパス 全体説明1405教室 専攻別（公法学 1407教室）	大学院新入生ガイダンス
6月13日（火） 16：00～17：00 白山キャンパス 特別会議室	平成29年度第1回博士論文中間報告会 (公法学専攻から4名の報告があり、私法学の教員も参加した。)
10月10日（火） 18：00～20：00 白山キャンパス 4号館1階ステラ	短期海外招聘教授であるWolfgang Voit（マールブルグ大学）氏、海外実務者として講演予定のEva Betina Voit氏、両名との懇親会を開催。
10月12日（木） 18：15～19：45 白山キャンパス 125記念ホール	短期海外招聘教授であるWolfgang Voit氏と海外実務者であるEva Betina Voit氏から「建築物の引取」について講演実施
11月7日（火）～ 11月13日（月） 白山キャンパス 各演習授業教室	法学研究科授業相互聴講実施

<p>11月14日（火） 白山キャンパス 特別会議室</p>	<p>平成29年度修士論文中間報告会 平成29年度終了予定の修士課程2年生（公法学3名）が報告を行い、参加教員からのアドバイスを受けた</p>
<p>12月4日（月）・ 5日（火）・ 7日（木） 12：10～13：00 白山キャンパス 8304教室・8202教室・セミナー室7</p>	<p>大学院生活等に関する個別相談会 執行部3名が希望学生から大学院生活について相談を受ける。</p>
<p>12月12日（火） 16：00～17：00 白山キャンパス 特別会議室</p>	<p>博士（甲）論文提出者による公聴会 （公法学専攻から1名の報告があり、私法学の教員も参加した。）</p>
<p>12月12日（火） 17：00～18：00 白山キャンパス 特別会議室</p>	<p>平成29年度第2回博士論文中間報告会 （公法学教員から3名の報告があり、私法学の教員も参加した。）</p>

経営学研究科

【経営学専攻】

<p>1月21日（土） 10：00～13：00 白山キャンパス 8301教室</p>	<p>平成28年度経営学専攻修士論文口述試験を実施し、対象院生は6名であった。</p>
<p>1月28日（金） 13：00～17：00 白山キャンパス スカイホール</p>	<p>経営力創成研究センター・GESIC 2016年度第3回シンポジウム。テーマは「スモールビジネスの創造と経営革新」であった。基調講演は、新宅光男氏（株式会社コーポレーションパルスター 代表取締役社長）「機能靴下メーカーから医療機器靴下メーカーへ経営革新」、パネルディスカッションは、上記の講演者に赤坂浩史氏（独立行政法人中小企業基盤整備機構 審議役）、藤田雅三氏（インサイトアップ株式会社 代表取締役・中小企業診断士）を加えて、コーディネーターの木下潔氏（東洋大学大学院特任教授）のもとに「スモールビジネスの創造と経営革新」というテーマで活発な議論を行った。参加者60名</p>
<p>3月11日（土） 9：00～12：30 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>平成28年度経営学専攻博士後期課程の中間報告会を実施し、対象院生は4名であった。</p>
<p>7月8日（土） 13：00～17：00 白山キャンパス スカイホール</p>	<p>経営力創成研究センター・GESIC 2017年度第1回シンポジウム。テーマは「スモールビジネスのITマネジメント」であった。基調講演は、吉本悟史氏（マインド・リノベーション株式会社 代表取締役・中小企業診断士）「中小企業におけるIT導入効果～IT投資マネジメントの視点から～」、パネルディスカッションは、上記の講演者に中村秀剛氏（有限責任監査法人トーマツ・シニアスタッフ・中小企業診断士）、福島正人氏（合同会社夢をカナエル代表・中小企業診断士）を加えて、コーディネーターの木下潔氏（東洋大学大学院特任教授）のもとに「スモールビジネスの創造と経営革新」というテーマで活発な議論を行った。特別講演は、水上光啓氏（水上印刷株式会社代表取締役会長）「印刷業をサービス業ととらえ、顧客のあらゆるニーズをワンストップで解決する」であった。参加者63名</p>

7月19日（水） 13：30～17：20 白山キャンパス 8603教室	平成29年度経営学専攻博士後期課程の中間報告会を実施し、対象院生は4名であった。
10月4日（水） 14：30～16：00 白山キャンパス 8602教室	平成29年度経営学専攻博士後期課程の公聴会を実施し、報告の院生は1名であった。
11月1日（水） 9：00～18：30 白山キャンパス 8303教室	平成29年度経営学専攻修士論文口述試験を実施し、受験生は18名であった。
11月2日（木）～ 6日（月） 中国（杭州市）	3日は杭州市余杭区良睦路1399号 梦想小镇互联网村（インターネット村）”天使村“”（エンジェル村）訪問 杭州市の取り組みは国家政策、地域政策などの支援もあり、ベンチャーキャピタルとの連携など完成度の高いものであった。現在は、AIに取り組んでおり、展開のスピードが速いことに驚かされた。 4日は地元の野菜市場などでのIT活用などについて見学した。すべてがスマホ決済であり、その普及状況を体験するとともに、現地日系企業の対応が今後の課題とされた。
11月3日（金）～ 5日（日） ベトナム（ハノイ市）	11月4日13：00～15：00 ハノイの国立貿易大学（Foreign Trade University、以下FTUという）附属Vietnam-Japan Institute for Human Resources Development（以下VJCCという）において、Invitation to TOYO Universityと題した、本学大学院経営学研究科の改組に向けたベトナム人留学希望者に対して、東洋大学の概要と経営学研究科の現状と将来像、模擬講義、本学研究科マーケティング専攻で学ぶベトナム人留学生の本研究科における研究概要、修士論文の内容、本学の研究支援などについて、プレゼンテーションを行い、それをもとに参加学生からのQ&Aを行った。

<p>11月18日（土） 13：00～17：00 白山キャンパス スカイホール</p>	<p>経営力創成研究センター 2017年度第2回シンポジウム。テーマは「次代へ繋ぐファミリービジネス」であった。基調講演は、幸田浩文氏（東洋大学経営学部教授・センター研究員）「ファミリービジネス研究の史的展開～3つの主要テーマを中心として～」、パネルディカッションは、上記の講演者に堀江新三氏（平野屋堀江商店社長）、小池理雄氏（小池精米店店主）を加えて、コーディネーターの藤田雅三氏（インサイトアップ株式会社代表取締役・中小企業診断士）のもとに「次代へ繋ぐファミリービジネス」というテーマで活発な議論を行った。参加者65名。</p>
<p>12月16日（土） 13：00～17：00 白山キャンパス スカイホール</p>	<p>経営力創成研究センター2017年度国際シンポジウム。テーマは「中国vs.アセアン：今後のアジア戦略を考える」であった。基調講演は、板野司氏（株スワニー代表取締役社長）「スワニーの海外戦略」、杉田定大氏（一般財団法人日中経済協会専務理事）「大アジア圏のサプライチェーンの構築を目指して～一带一路やEV革命にどう向き合うのか～」であった。パネルディカッションは、上記の講演者に青津暢氏（中小企業診断士・開発コンサルタント）を加えて、「中国vs.アセアン：今後のアジア戦略を考える」というテーマで活発な議論を行った。参加者60名</p>

【ビジネス・会計ファイナンス専攻】

1月21日（土） 10：00～17：00 白山キャンパス 8302教室	平成28年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文口述試験」を実施し、受験生は17名であった。
1月26日（木） 18：15～18：50 白山キャンパス 8206教室	平成28年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施し、受験生は2名であった。
3月11日（土） 9：00～12：20 白山キャンパス 8202教室	平成28年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士論文第1回中間報告会」が開催され、4名が発表した。
3月23日（木） 13：20～14：00 白山キャンパス 8204教室	平成28年度（3月修了）学位記授与式が行われ、ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程19名に学位記が授与された。
7月19日（水） 13：30～17：20 白山キャンパス 8603教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士論文第1回中間報告会」が開催され、4名が発表した。
7月29日（土） 9：00～16：00 白山キャンパス 8301教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第1回中間報告会」が開催され、17名が発表した。
10月4日（水） 14：30～15：20 白山キャンパス 8602教室	平成28年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士後期課程「博士学位請求論文に関する公開研究会（公聴会）」が開催され、1名が発表した。
11月11日（土） 9：00～16：00 白山キャンパス 8206教室	平成29年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（企業家・経営幹部養成コース、中小企業診断士登録養成コース）「修士論文・特定課題研究論文第2回中間報告会」が開催され、17名が発表した。

【マーケティング専攻】

<p>2月3日（金） 10：00～12：00 白山キャンパス 8206教室</p>	<p>博士前期課程修了予定者3名の口述試験を行った。報告20分、質疑10分で行われ、すべての報告終了後に指導教員（5名参加）により合否判定し、その結果を研究科長に伝えた。</p>
<p>4月1日（土） 13：30～15：00 白山キャンパス 8301教室 8303教室</p>	<p>8301教室に於いて30分間経営学研究科新入生全員に対するガイダンスを行った後、8303教室に移動し、マーケティング専攻博士前期課程入学予定者5名に対するガイダンスを行った。教員は演習を担当する7名の教員全員が参加し、学生の希望する指導教員との面談をしながら副指導教員を決定した。その後、主・副指導教授は学生に対し個別に初回の講義・演習に関し説明した。</p>
<p>8月2日（水） 白山キャンパス 8302教室</p>	<p>修士論文中間報告（第1回目）を実施し、博士前期課程2年生5名が報告を行った（報告15分程度、質疑10分）。博士前期課程1年生4名、教員6名が参加した。1, 2の報告を除き、厳しい質問が教員から出され、夏季休暇中の課題が明確になったものと思われる。</p>
<p>11月1日（水） 白山キャンパス 8202教室</p>	<p>修士論文中間報告（第2回目）を実施し、博士前期課程2年生5名が報告を行った（報告20分、質疑10分）。博士前期課程1年生5名、教員8名が参加した。2016年度から中間報告会を2度実施しており、社会的に評価される修士論文完成に向けて指導体制が大きく進歩している。8月実施の第1回中間報告に比してアカデミックな意味で進歩した報告がみられた一方で、前回指摘された問題点を克服できておらず主・副指導教員以外の教員から厳しい指導を受けた学生もいた。</p>

経済学研究科

【経済学専攻】

2月4日（土） 13：00～15：30 白山キャンパス 8303教室	2017年度修士論文口述試験。論文提出者3名（松岡 亮祐氏、佐藤 慎悟氏、高橋 湧大氏）について、各学生による報告の後、試験官教員より質問を行う。評価、及び研究科委員会の審議を経て、これら3名の修士論文を合格とした。
6月8日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8602教室	論文発表会（第1回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）姜 思思（M2）「中国の雇用保険の変革課題」 （2）譚 静（M2）「中国の民間医療保険発展の為の課題」 （3）佐藤 賢佑（M2）「少子高齢化対策の国際比較」 教員6名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月15日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8602教室	論文発表会（第2回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）倉持 悠佑（M2）「グローバル化の日本経済への影響」 （2）伯 文婷（M2）「為替レートと株価の関係」 （3）孔 徳毅（M2）「人民元の基軸通貨化の展望」 教員5名、学生15名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月22日（木） 15：10～18：10 白山キャンパス 8602教室	論文発表会（第3回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約3時間。 （1）高 翔（M2）「中国の自動車産業組織の経済学 産業組織」 （2）孫 舫（M2）「住宅政策についての国際比較」 （3）郝 怡瑶（M2）「中国沿海地域の産業移転」 （4）丁 莉（M2）「戦後の日本と中国の経済交流史」 教員6名、学生14名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月29日（木） 15：10～17：10 白山キャンパス 8602教室	論文発表会（第3回）（M3、D2の論文中間報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）李 ロ（M3）「中国の医療制度改革～公立病院を中心に～」 （2）水村 陽一（D2）「規制改革による産業活性化と革新-活動～ドイツ手工業分野 規制改革の全容～」 （教員6名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。）

<p>7月13日（木） 16：30～17：30 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>第1回外部講師による特別講義を開催、約1時間半。 講師：一橋大学経済研究所准教授 馬 欣欣（マ キンキン）氏 テーマ：「中国農村部における公的医療保険制度の改革：制度的・実証的分析」 教員2名、学生16名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月12日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>論文発表会（第1回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）伊藤 翼（M1）「障害者雇用と企業の生産性」 （2）須川 翔太（M1）「ソーシャルゲームに関する消費者選考について」 （3）陸 海天（M1）「少子高齢化対策の国際比較」 教員6名、学生14名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月19日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>論文発表会（第2回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）種柯如（M1）「金融政策を中心とした日本のバブル崩壊から中国への啓示」 （2）戴 卓君（M1）「日本の経済政策から見た中国中小企業の融資問題」 （3）樽谷 弾（M1）「日本と諸外国の少子化対策の比較研究」 教員6名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>10月26日（木） 16：00～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>論文発表会（第3回）（M1の論文報告、質疑応答含め各40分）、計約2時間。 （1）ホウ天龍（M1）「中国西北総合経済区における国際的生産流通ネットワークを構築の可能性について」 （2）葉 青（M1）「中国戸籍制度改革の評価：農村労働力需給の視点から」 （3）朱 翔宇（M1）「欧米日の炭素排出量取引制度と中国への啓示」 （教員6名、学生17名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月13日（月） 16：30～18：10 白山キャンパス 演習室3</p>	<p>第2回外部講師による特別講義を開催、約1時間半。 講師：政策研究大学院教授・国際労働機関（ILO）駐日事務所代表 田口昌子氏 テーマ：「SDGsに取り入れられたディ-セット・ワーク：創設100周年を迎える国際労働機関」 教員2名、学生12名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

<p>11月16日（木） 15：30～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>修士論文発表会（第1回）（M2、M3の修士論文最終報告、質疑応答含め各40分）、計約3時間。</p> <p>（1）姜 思思（M2）「中国の雇用保険の変革課題」 （2）倉持 悠佑（M2）「グローバル化の日本経済への影響」 （3）孔 徳毅（M2）「人民元の基軸通貨化の展望」 （4）伯 文婷（M2）「為替レートと株価の関係」</p> <p>教員6名、学生16名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月23日（木） 15：30～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>修士論文発表会（第2回）（M2、M3の修士論文最終報告、質疑応答含め各40分）、計約3時間。</p> <p>（1）佐藤 賢佑（M2）「少子高齢化対策の国際比較」 （2）高 翔（M2）「中国の自動車産業組織の経済学 産業組織」 （3）譚 静（M2）「中国の民間医療保険発展の為の課題」 （4）李 口（M3）「中国の医療制度改革～公立病院を中心に～」</p> <p>教員7名、学生16名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>11月30日（木） 15：30～18：10 白山キャンパス 8602教室</p>	<p>修士論文発表会（第1回）（M2、M3の修士論文最終報告、質疑応答含め各40分）、計約3時間。</p> <p>（1）郝 怡瑶（M2）「中国沿海地域の産業移転」 （2）孫 舫（M2）「住宅政策についての国際比較」 （3）丁 莉（M2）「戦後の日本と中国の経済交流史」 （4）樽谷 弾（M1 短縮卒業予定者）「日本と諸外国の少子化対策の比較研究」</p> <p>教員5名、学生18名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

【公民連携専攻】

1月23日（月） 大手町サテライト	1年間の研究成果の発表会。公共施設の効率性評価のための公共ROA、公共施設等総合管理計画評価10項目と評価事例等を発表。自治体、民間関係者60名が参加。
3月23日（木） ホテルルポール麴町	地方創生セミナー。唐沢剛地方創生総括官、内谷重治長井市長、根本祐二専攻長が基調講演。その後、杉本洋文東海大学教授、斉藤俊幸地域再生マネジャー、関幸子東洋大学客員教授によるパネルディスカッションを実施。自治体関係者約120人が参加。
10月17日（火） サンケイホール	第12回国際PPPフォーラム。シティマネジメントをテーマに、バイロン・ブルックス米国オーランド市シティマネジャー、ロン・カーリー米国オールド・ドミニオン大学教授、牧野百男福井県鯖江市長による基調講演を実施。自治体、民間企業関係者が約200人が参加。
10月26日（木） サンケイプラザ	2017年度 省インフラ研究会セミナー。個別施設計画策定、事業の実施に役立つ技術、サービスを省インフラ研究会の会員企業にご紹介し、自治体関係者との意見交換、マッチングの場として役立てていただく。自治体関係者約100人が参加。

国際地域学研究科

【国際地域学専攻】

5月9日（火）～ 5月11日（木） City University of Hong Kong	UNECE（国連欧州経済委員会）主催のInternational PPP Forumにて、「Philippines, City and Region of Butuan,」というタイトルで共同発表 (博士後期課程 加藤聡)
5月23日（火）～ 5月26日（金） 東京ビッグサイト 有明	2017NEW環境展にて、“開発途上国における水供給、廃棄物処理等に関する適正技術の研究成果”というタイトルで展示 社名「東洋大学 国際学部 北脇研究室」で出展。
6月2日（金） 川崎市産業振興会 館	一般社団法人廃棄物資源循環学会主催、平成29年度春の研究発表会にて、“海外直接投資貿易に起因する廃棄物発生不均衡 一日米間のケーススタディー”というタイトルで口頭発表及びポスターセッション。 (博士後期課程 井上 常史、北脇 秀敏)
6月8日（木） 上智大学	上智大学とJICA共催の平和構築セミナー「フィリピン・ミンダナオ和平と日本の貢献」にて「フィリピン・ブトゥアン市プロジェクト」というタイトルで発表すると共に、パネリストとして登壇（博士後期課程 加藤聡）
8月24日（木）～ 8月26日（土） 名古屋国際会議場	日本都市計画学会及びKorea Planning Association (KPA)、Taiwan Institute of Urban Planning (TIUP)、Vietnam Urban Planning and Development Association (VUPDA) の共催による Asian-Pacific Planning Societies 2017国際会議にて“The Possibility of Renovation of Urban Villages in Shenzhen, China”（博士前期課程 譚靈堅、志摩憲寿）及び“Social Housing and Public-Private Partnerships : A Case Study of Port Elizabeth in South Africa”（博士前期課程 Yongama Madyibi and Norihisa Shima）を発表した。
9月6日（水） 東京工業大学 大岡山キャンパス	一般社団法人 廃棄物資源循環学会主催の第28回廃棄物資源循環学会研究発表会にて、“海外直接投資貿易に起因する廃棄物発生不均衡（第2報）一日米間のケーススタディにおける改善策—”というタイトルで口頭発表 (博士後期課程 井上 常史、北脇 秀敏)

<p>9月14日（木） 北九州国際会議場</p>	<p>環境科学会2017年會にて、2件のポスター発表を行った。発表者およびテーマは以下の通り。</p> <p>発表者：Shakumu Apollos（博士前期課程）、タイトル：Application of Eco-school Models as Teaching and Learning Tools in Namibia</p> <p>発表者：Moroka Wedu（博士前期課程）、タイトル：Waste Impacts and its Mitigation in Botswana’s Conservation Areas：A Field Survey based on Stakeholder Interviews in the Tourism Sector</p> <p>年會への参加者数は約200名程度であった。</p>
<p>9月20日（水）～ 9月21日（木） タイ</p>	<p>「International Symposium of the 11th SSMS and the 5th RCND 2017」（社会マネジメントシステム学会）にて「Possibility of “Bundling” in PPP as a New Business Model for Japanese Civil Engineering Consulting Firm - From a Case Study of a Bundled PPP project in the Philippines -」というタイトルで発表（博士後期課程 加藤聡）</p>
<p>10月21日（土） 大阪大学吹田キャンパス</p>	<p>土木学会環境システム研究発表會にて、1件の口頭発表を行った。発表者およびテーマは以下の通り。</p> <p>発表者：周可（博士前期課程）、タイトル：中国長沙市における都市ゴミの削減及び分別に対する市民意識の調査</p> <p>研究発表會への参加者数は150名程度であった。</p>
<p>11月25日（土） 東洋大学・白山キャンパス</p>	<p>東洋大学国際共生社会研究センター主催シンポジウム「国際的なネットワークによる広域的な人材育成を通したSDGsの実現に向けて」を開催。北脇秀敏教授が“東洋大学の遠隔教育における人材育成と展望”というタイトルで講演</p>
<p>11月26日（日） 東洋大学・白山キャンパス</p>	<p>国際開発学会 第28回全国大會にて、下記の発表を行った。</p> <p>“ケニア農村零細ビジネスの現状と課題 —ケニア一村一品プロジェクトの事例から—”（博士後期課程 松島 恭範、北脇 秀敏）</p> <p>“災害脆弱性のセクター分類評価に基づく復興支出の検証手法試案—ビルド・バック・ベター実現のために—”（博士後期課程 永見 光三、北脇 秀敏）</p> <p>“日系企業のタイへの進出による廃棄物環境負荷と日系企業の果たすべき役割—東部経済回廊プロジェクトにおける廃棄物発生量の推定—”（博士後期課程 井上 常史、北脇 秀敏）</p> <p>“深井戸給水施設の持続可能性に関する研究 —ミャンマー中央感想地域の水管理委員会を対象に—”というタイトルで論文発表。（博士後期課程 森 昌子、北脇 秀敏）</p>

<p>12月5日（火） 土木学会</p>	<p>「土木建設マネジメント研究発表・討論会 2017年度 第35回建設マネジメント研究発表・討論会」にて、「我が国のPPP/PFIにおける『バンドリング』効果の海外のPPPへの適用可能性－本邦建設コンサルタントによるフィリピン・ミンダナオ島での再生可能エネルギー事業の取り組みを事例に－」というタイトルで発表（博士後期課程 加藤聡）</p>
<p>12月23日（土） 明星大学</p>	<p>日本都市計画学会（アジア・アフリカ都市計画研究分科会）主催「第13回アジア・アフリカ都市計画研究発表会」にて、“A Study on Evolution of the Tourism Policies in Senegal”（博士前期課程 Khadidiatou Pouye and Norihisa Shima）を発表</p>

【国際観光学専攻】

1月28日	院生発表会 参加者30人ほど 修士論文審査
7月22日	院生発表会 参加者30人ほど 修士論文審査
10月28日	日本国際観光学会全国大会 参加者200人程
11月11日 12日	観光まちづくり学会 参加者30人ほど

福祉社会デザイン研究科

【社会福祉学】

1月27日（金） 15：00～17：45 白山キャンパス 8301教室	平成28年度第2回中間報告会 報告者5名 参加者20名
3月18日（土） 13：00～ 白山キャンパス 125記念ホール	東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウム テーマ：地域の暮らしを支えるための普遍的条件や仕組みとは ～「つながらない」から、「つなぐ」ための実践から見えてきたもの～ 参加者 70名
4月1日（土） 14：00～ 白山キャンパス 8502教室	新入生ガイダンス
8月3日（木） 10：00～17：00 白山キャンパス 8204教室	平成29年度第1回中間報告会 報告者9名 参加者35名
8月6日（日） 10：00～17：00 125記念ホール	第13回東洋大学社会福祉学会（社会福祉学専攻の学内学会） 大会テーマ「ソーシャルワーク実践におけるストレングスの視座」 参加者80名
9月23日（土） 16：00～ 朝霞キャンパス	2017年度福祉社会デザイン研究科合同研究発表会、新入生歓迎会、懇親会

【福祉社会システム専攻】

1月30日（月） 白山キャンパス	修士論文口述試験の実施。学生1名につき30分の口述試験を行った。論文提出者1名。教員11名。
3月23日（木） 武道館 白山キャンパス	午前中：卒業式 午後：学位授与式（修了生1名）
4月1日（土） 白山キャンパス	新入生ガイダンス（新入生2名） 教員2名
7月24日（月） 白山キャンパス	中間報告会。報告者6名。教員10名。
9月16日（土） 白山キャンパス	新入生ガイダンス（新入生2名） 教員2名
9月16日（土） 白山キャンパス	専攻二十周年記念事業。シンポジウムおよびパーティー。卒業生45名。在学生4名。専攻教員10名。社会学研究科教員3名。退職教員2名。
9月23日（土） 朝霞キャンパス	2017年度福祉社会デザイン研究科合同研究発表会。学生1名が報告。

【ヒューマンデザイン専攻】

1月18日（水） 16：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	子ども支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者3名が発表し、その後、教員9名による口頭試問が行われた（論文提出は1月11日締め切り）。教員による鋭い質疑と研究の成果を基にした修士論文提出者の応答が繰り広げられた。
1月22日（日） 白山キャンパス	子ども支援学コース 博士前期課程の留学生3名を対象に野田正人氏（立命館大学）特別講義「日本と中国の養子縁組制度」を実施し、博士前期課程2年の中国人留学生を中心に活発な質疑応答は行われた。
1月31日（火） 14：00～16：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	高齢者・障害者支援学コース修士論文口述試験が行われた。修士論文提出者4名が発表し、教員5名との質疑応答が行われた。
2月2日（木） 16：30～20：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	第3回健康デザイン学コース合同指導会（博士前期・後期課程）および修士論文口述試験開催。博士後期課程院生2名、博士前期課程院生9名（うち口述試験対象者6名）、教員9名が参加。合同指導は博士後期課程院生20分・博士前期課程院生15分、口述試験は20分で行われた。
2月14日（火） 10：30～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期課程院生4名、博士後期課程院生8名、専任教員6名が参加し、質疑応答が行われた。
2月15日（水） 10：30～12：40 朝霞キャンパス 大学院演習室	子ども支援学コース修士論文報告会を行い、修了生3名が研究発表を行い、併せて、博士前期課程1年生2名が研究途中経過報告を行った。専任教員7名が参加した。
2月25日（土） 白山キャンパス	子ども支援学コース 福祉社会開発研究センター子どもユニット主催「児童福祉法改正を活かす」に博士後期課程5人と博士前期課程4人が参加した。
3月1日（水） 13：00～16：00 白山キャンパス	子ども支援学コース 大正大学コミュニティー福祉学部金教授を招聘し、中国留学生の修士論文2本と博士論文執筆中の1人の助言をもらうとともに、2017年度本専攻修士課程留学生の大正大学大学院での聴講を依頼した。
3月11日（土） 明治学院大学	子ども支援学コース 3月11日開催の関東地域ブロック研究大会の自由研究報告で、博士後期課程3年の高橋実院生と五十嵐裕子院生が研究報告をした。

3月20日（月） 白山キャンパス	子ども支援学コース博士前期課程2年の西澤志穂院生の修士論文が平成28年度東洋大学校友会学生研究奨励基金を授与された。論文は大学院紀要に投稿された。
4月1日（土） 11：30～12：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	健康デザイン学コース 新入生ガイダンス：課程入学者2名を対象にガイダンスを実施した。主に履修登録に関する注意事項、年間スケジュールの確認、連絡先の登録などを行った。教員は8名が参加した。
4月1日（土） 11：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室	高齢者・障害者支援学コース新入生へコース別ガイダンスを行った。高齢者・障害者支援学コースの新入生は博士前期課程6名・博士後期課程1名であった。
4月1日（土） 11：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室	本専攻新入生へ各コース別ガイダンスを行った。コース毎の新入生数は、子ども支援学コースは博士前期課程3名・博士後期課程1名であった。
4月3日（月） 9：00～17：00 みんなのおうち保育園、児童養護施設福音寮	子ども支援学コース 博士前期課程と後期課程の留学生4名に入園式と施設見学。日本の児童福祉施設と保護者についての説明し、体験学習を行った。この後、前期課程1名は保育園の全クラスを約2か月かけて見学し、他の1名は7月以降に学童保育施設での実習兼アルバイトを行った。
4月14日（金） 13：00～16：00 白山キャンパス	子ども支援学コース 韓国ヨンナム大学と韓国児童福祉施設関係者が東洋大学福祉社会開発研究センターとの交流のために来校されるに際して、日韓の取り組みについての意見交換の場に韓国人留学生も参加した。
5月11日（木）～ 7月27日（木） 白山キャンパス	子ども支援学コース 博士前期課程の留学生2名が留学生日本語論文講座（「論文・レポート作成の日本語指導コース」）に参加した。非常に役に立つ講座であったとのことである。
5月20日（土） 岡山県 川崎医療福祉短期大学	子ども支援学コース 博士前期課程2年今泉院生が日本保育学会で研究発表を行った（大学院学会発表奨励金授与）。教員2名も同行した。
5月21日（日） 早稲田大学	子ども支援学コース 子どもの権利条約総合研究所研究大会で博士後期課程3年の五十嵐裕子院生と田谷幸子院生が研究発表をした。

5月24日（水） 白山キャンパス	子ども支援学コース 中国東北師範大学社会福祉学部と社会福祉学専攻の交流に、本専攻の中国からの博士前期課程の留学生2人と博士後期課程2人が参加し、中国での資料収集方法についての相談をした。また、各自が研究について報告をし、参加教員から有益な助言をもらった。
6月10日（土） 白山キャンパス	子ども支援学コース 社会貢献センターオープン講座「子どもの貧困を当事者と語る」に前期課程学生3人と後期課程学生5人が参加
6月14日（水） 国立国会図書館東京本館	子ども支援学コース 博士前期課程2名が、国立国会図書館東京本館の見学をした。研究資料の収集の方法について学び、各自の専門分野の資料収集にあたった。
7月8日（土） 白山キャンパス	子ども支援学コース 台湾・モンゴル・中国・韓国の社会福祉学専攻博士学位取得者のシンポジウムと在学生の交流会に博士前期課程の留学生3人と博士後期課程2人が参加した。
7月9日（日） 白山キャンパス	子ども支援学コース 福祉社会開発研究センター子どもユニット主催「子どもにやさしいまちづくりの展開－大震災を経験したネパールと日本の取り組み－」に博士後期課程学生5人と前期課程学生4人が参加した。
7月15日（土）～ 7月17日（月） 東洋大学 鴨川セ ミナーハウス	第7回社会学部サマーレスパイトデイズノ活動に子ども支援博士前期課程2人、博士後期課程1人が参加した（交通費、宿泊費は社会学部予算2017年度社会学部教育・研究活動改革支援「東日本大震災復興支援を継続・発展させる学生の支援活動の開発」から支出）。
7月18日（火） 志木市：志木のま いにち子ども食堂	鈴木崇之教授が博士前期課程の院生2名を引率し、「志木のまいにち子ども食堂」を見学した。子ども食堂については授業で説明しているが、実際の現場を体験することで院生に児童福祉の実情を学ばせた。
7月25日（火） 18：00～20：00 朝霞キャンパス 大学院演習室	博士後期課程の伊藤千尋院生及び片山優美子院生の博士論文公聴会が行われ、関係教員が参加し、質疑応答が行われた。
7月26日（水） 17：00～20：30 朝霞キャンパス 大学院演習室	第1回健康デザイン学コース合同指導会：博士後期課程院生3名、博士前期課程院生5名、教員10名が参加。発表は、前期1年生は発表8分および質疑6分、前期2年生は発表10分および質疑8分、後期院生は発表15分および質疑10分とした。活発な質疑応答が行われた。

7月28日（金）～ 8月1日（火） 山田町ゾンタハウス	子ども支援学コース 東日本大震災の被災地域で子ども支援活動を展開する岩手県下閉伊郡山田町に社会福祉学専攻後期課程学生と子ども支援学コース博士後期課程1年生が被災地支援活動に参加。29日には森田明美教授が訪問した（2017年度社会学部教育・研究活動改革支援「東日本大震災復興支援を継続・発展させる学生の支援活動の開発」）。
8月1日（火） 10：30～ 朝霞キャンパス 大学院演習室	子ども支援学コース修士論文提出予定者2名による中間研究発表が行われた。教員6名（うち1名は新研究科担当予定者）が参加し、活発な質疑応答が行われた。また、博士前期課程1年生3名による研究テーマの説明やこれまでの研究についての発表も行われた。
8月1日（火） 10：30～17：00 朝霞キャンパス 大学院演習室	高齢者・障害者支援学コース春学期合同研究指導会を開催した。博士前期課程院生9名、博士後期課程院生6名、専任教員6名が参加し、質疑応答が行われた。
8月20日（日）～ 8月21日（月） 東洋大学 熱海研 修センター	大学院生10名（休学者を含む博士後期課程院生7名、博士前期課程院生3名）、博士後期課程指導担当教員3名、特別講師1名、新研究科博士後期課程担当予定者1名、修了生等による合宿が開催され、博士後期課程院生による研究発表と、質疑応答が行った。
9月16日（土）～ 9月18日（月） 大韓民国ソウル市	子ども支援学コース 博士後期課程院生2人を森田明美教授が引率し、子ども支援実践を進めるソウル救世軍未婚母の家、ソウルひとり親支援センター、ひとり親当事者団体イントリ、韓国海外養子を支援する団体などの視察や意見交換をした。
9月29日（金） 東京都男女共同参 画センター	子ども支援学コース 全国シェルター会議女性の妊娠出産子育て時期の支援に関するシンポジウムに、博士前期課程2人と博士後期課程3人の院生と森田教授が参加した。
10月21日（土）～ 10月22日（日） 首都大学東京	子ども支援学コース 日本社会福祉学会秋季大会に森田教授が博士前期課程と博士後期課程の院生を同行して研究報告に参加。プレゼンの方法や研究のまとめ方などについて教育した。
11月11日（土）～ 11月12日（日） 東洋大学 富士見 高原セミナーハウ ス	子ども支援学コース 角藤智津子教授が特論ゼミ合宿（博士前期課程2名、修了生1名）を行い、大学院紀要に投稿する論文についての質疑応答を中心に、研究の現状や目標についてなどを活発に話し合った。

<p>11月15日（水） 15：00～18：30 朝霞キャンパス 大学院演習室</p>	<p>第2回健康デザイン学コース合同指導会：博士後期課程院生1名、博士前期課程院生4名（うち発表者2名）、教員10名が参加。発表は、前期1年生は発表12分および質疑8分、後期院生は発表15分および質疑10分とした。活発な質疑応答が行われた。</p>
<p>12月4日（月） つくばみらい市認定こども園ふたばランド幼稚園・保育園</p>	<p>子ども支援学コース 清水玲子非常勤講師が、博士前期課程2名と認定こども園を見学した。新しい制度の下での、認定こども園の保育実践について、保育現場で働く保育者との検討会を持ち、問題解決を追求した。</p>
<p>12月5日（火） 朝霞キャンパス 大学院演習室</p>	<p>子ども支援学コース 大門俊樹氏（東京福祉大学）の特別講義「日本と韓国のスクールソーシャルワークの現状と課題」を実施し、韓国人留学生やSSWに関心のある博士後期課程2名、博士前期課程3名、その他ライフデザイン学部の助教などの参加があった。</p>
<p>12月13日（水） 朝霞市立北朝霞保育園</p>	<p>子ども支援学コース 保育所における危機管理に興味を持つ博士前期課程1名が、避難訓練に見学・参加をした。消防車、救急車も来ての本格的な避難訓練で、子ども達を引率して逃げる経験をし、子どもの安全を確保することの重要性について学んだ。</p>
<p>12月16日（土） 白山キャンパス</p>	<p>子ども支援学コース 社会貢献センターオープン講座「子どもの貧困の解決策を支援者と探る」に博士前期課程と博士後期課程の院生が参加した。</p>

【人間環境デザイン専攻】

4月～8月 TMG朝霞医療センター予定地	2018年開業予定のTMG朝霞医療センター（現朝霞台中央総合病院）において実施されたホスピタルアートワークプロジェクトにおいて、グラフィックデザイナーの島津勝弘氏から学生と共にワークショップを実施したいとの要請があり、これに参加協力した。「博士前期課程」
4月～8月 本学朝霞キャンパスおよび新座団地	建築計画特別演習において、新座団地自治会の協力のもと、新座団地の再生計画に取り組んだ。現地調査やヒアリングを行い、団地再生に向けた提案を行った。「博士前期課程」
8月9日 日本福祉のまちづくり学会	日本福祉のまちづくり学会 2017年8月9日発表（口頭） 『障害者による引戸出入り動作の研究 その2. 袖壁が動作に与える影響と袖壁がない場合の対策について』 高橋未樹子「博士後期課程」
8月 富山県	富山デザインコンペティション2017 準とやまデザイン賞受賞 永田勇介「博士前期課程」
9月2日 日本建築学会	日本建築学会 2017年9月2日発表（口頭） 『オフィスでのトイレ利用実態について 公共的トイレの利用実態に関する研究 その1』 高橋未樹子「博士後期課程」
11月 株式会社ハーフェレジャパン	第9回ハーフェレ学生デザインコンペティション2017 優秀賞「住古鉄塔」 古渡大「博士前期課程」
11月～12月 本学朝霞キャンパス	先に実施した、TMG朝霞医療センターホスピタルアートプロジェクトの成果を踏まえ、朝霞市の重要な医療拠点であり、多くの朝霞市民が利用する当該医療センターの概要を朝霞市民にわかりやすく伝えることを目的とした、博士前期課程学生による立体型パンフレットの提案を実施した。（1月に制作物の展示・配布を予定）
11月～12月 本学朝霞キャンパスおよび朝霞の森	朝霞市内にある基地跡地の暫定利用として、子どもたちの遊び場が整備されている「朝霞の森」に対して、さらなる魅力の創出に寄与するため、NPO法人「あさかプレーパークの会」との協働連携のもと、博士前期課程学生による建築デザイン提案および建築模型制作を実施した。

編 集 後 記

『東洋大学大学院紀要』第54集をお届け致します。本集には、文学研究科33篇、社会学研究科9篇、法学研究科3篇、経営学研究科7篇、経済学研究科1篇、国際地域学研究科4篇、福祉社会デザイン研究科12篇、計69篇の論考が掲載されています。原稿を執筆下さった皆様、また論文の指導及び査読に当たって下さった先生方、さらに編集実務を引き受けて下さった大学院教務課の皆様、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今年度第1回の刊行物編集委員会におきまして、①大学院紀要の応募資格の追加、②大学院紀要の名称変更、の2点について委員より提案が出されました。どちらも全学に関わる問題であるため、すべての研究委員会に対して意見聴取することといたしました。その結果、①については、来年度より「東洋大学大学院所属の客員教員および大学院研究科が招聘した学外研究者」に対しても応募を認めることとなりました。②については、7研究科のうち6研究科が反対を表明したため、名称変更は行わないこととしました。

なお、本学におきまして平成29年7月に博士学位取り消し措置が1件ありましたため、該当者の学位請求論文に関連する紀要の掲載（平成17年発行の第41集）を取り消しさせていただきました。今後、刊行物編集委員会といたしましても紀要掲載論文の審査体制について再検討を行い、再発防止に努めてまいります。

年次刊行物編集委員長
竹 澤 康 子

[大学院年次刊行物編集委員会]

坂井多穂子 (文学研究科)	赤須 薫 (文学研究科)
長 広美 (社会学研究科)	芦野 訓和 (法学研究科)
今泉 淳 (経営学研究科)	竹澤 康子 (経済学研究科)
坂元 浩一 (国際地域学研究科)	内山 有子 (福祉社会デザイン研究科)

東洋大学大学院紀要 第54集

文 学 研 究 科
日本文学文化(国文学)専攻

2018 (平成30) 年 3 月 15 日 印刷発行
(非売品)

発行者 東洋大学大学院
東京都文京区白山5丁目28-20
電話 03 (3945) 7250

Bulletin of the Graduate School, Toyo University
Graduate School of Letters, Course of Japanese Literature and Culture
(Japanese Literature)

Vol.54 2017

Contents

A study of Kaimochihi : Focusing on Commentaries on“Tsurezuregusa”	KUBOTA, Kazuhiro	1
Mimei Ogawa as a poet :		
A study of “Anoyama-Koete”	MASUI, Makoto	15
Study for Ogama Kodo – The reason why two editions of TANEFUKUBE exist- ...	NEMOTO, Ayako	31
Emaki and kusazoushi :		
Study of picture scroll “Bakemonokonrei” and “Bakemono no yomeiri”,by Ikku JUPPENSHA		
.....	OUCHI, Mizue	57
The Survey of the difference of the expressions between for temples and for shrines in Travel Diary		
written by KAWAI Sora in 1689 and 1691.	AIZAWA, Hirokazu	73